

令和元年度 みどりの保育園 保育士の自己評価について

保育士が自己評価することで

- ☆ 保育士が自らの保育を自己点検・評価する（見直す）ことによって、保育内容の質の向上に努めることができる。
- ☆ 多様なニーズに対応したきめ細やかな保育サービスの提供のあり方等について検討課題を得ることができる。
- ☆ 保育園の保育内容を開示することによって、社会に保育園保育及び保育園の存在理由を理解してもらうことができる。

以上の効果が期待されます。

1.実施期間 令和元年4月1日～令和2年3月31日

2.評価機関 ◎ よく出来ている
 ○ ほぼ出来ている
 △ 努力が必要

3.評価内容と結果

（実施した保育士13名）

項目	評価内容	◎ (%)	○ (%)	△ (%)	評価（改善策）
保育理念	すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重している	69.2	30.8	0.0	一人ひとりと向き合い子どもの考えや思いを尊重出来るよう心掛けた
	一人ひとりのありのままの姿を受け入れることが出来る	61.5	38.5	0.0	子ども達の個性を理解し、安心して過ごせるよう配慮した
保育計画	園の方針を理解して、保育計画を立てている	33.3	50.0	16.7	園の方針に共感し保育を行っている
	園の保育目標を理解して、クラスの年間目標を立てたか	16.7	75.0	8.3	保育目標と子ども達の姿を相互に考え目標を立てた
	『目指す子どもの姿』を実現できるよう保育計画を立てた	33.3	58.4	8.3	実際の子どもの姿を考慮しながら行えた
保育実践	園の保育方針を理解し、実践しようと努めている	15.4	84.6	0.0	保育士同士で話し合いながら行っている
	年間保育目標を意識して保育に組んでいる	15.4	69.2	15.4	計画に基づき見直ししながら保育出来た
	『目指す子どもの姿』を実現できるよう保育に取り組んでいる	38.5	61.5	0.0	発達や個性に応じた保育を心掛けた
環境づくり	子どもの発達を促すための環境づくりを心がけている	38.5	46.1	15.4	年齢や月齢に応じて対応することが出来た
	玩具・遊具については必要に応じて消毒したり、衛生面に配慮する	61.5	23.1	15.4	定期的な消毒を今後も継続していく

項目	評価内容	◎	○	△	評価（改善策）
環境づくり	子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境づくりを行っている	50.0	41.7	8.3	予測していなかった子どもの行動に速やかに対応出来るようにしたい
	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心掛けている	30.8	69.2	0.0	常に清潔感が保たれるよう心掛けている
健康支援	子どもの日々の健康状態を把握し、保育している	38.5	61.5	0.0	登園時に視診を行い体調の変化に留意して行っている
	子どもの体調不良や怪我などの情報を職員間で共有している	38.5	61.5	0.0	ミーティングで情報共有している
子どもとの関わり	一人ひとりを大切にして関わっている	69.2	30.8	0.0	保育の大前提として実践できた
	一人ひとり思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている	38.5	53.8	7.7	その都度思いや育ちを受け止め関わるよう心掛けている
	一人ひとりの子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている	23.1	69.2	7.7	どの子もかけがえのない個人であると常に考えている
	一人ひとりの子どもの話を聞き、丁寧に関わっている	30.8	61.5	7.7	難しい場面も多々あるが時間を作って丁寧に関わっていききたい
保護者対応	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている	23.1	76.9	0.0	言葉遣いを丁寧に笑顔で対応することが出来た
	送迎時に子どもの姿を伝えている	38.5	46.1	15.4	些細な日常の行動や友達との関わりを伝えている
	一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に面談を行っている	8.3	41.7	50.0	個別に伝えたほうが良い場合は行う
事故防止安全対策	遊具の安全点検を行い、破損・不具合の箇所は、必要に応じて対策をとっている	30.8	69.2	0.0	安全点検は毎週欠かさず行った
	子どもが危険な場所や遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう働きかけている	53.8	46.2	0.0	年齢の理解度に合わせた関わり方で伝えている
職員の資質向上	園の内外における研修に積極的に参加している	38.5	38.5	23.0	保育の質向上を目的とし参加した
	保育士の人間性が子どもに与えることを自覚して、研修に励んでいる	46.1	38.5	15.4	自分自身がどうあるべきか意識をしている

今年度は、新しい自己評価表を作成し、自分の保育を振り返ってみました。項目によっては「努力が必要」の部分もあるので、今後は職員間で話し合い、保育の見直し、自分自身の見直しを謙虚に行い子どもたち・保護者・地域に信頼される保育園を目指していきたいと思ひます。